OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	デザイン理論　43号　投稿規程/執筆要領/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2003, 43, p. 92-93
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53206
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正，昭和60年11月８日改正，
平成２年11月10日改正，平成６年７月９日改正，
平成14年11月９日改正

1．内　　容：デザインに関する未発表の論文，研究報告等。
2．投稿資格：本会会員
3．採　　択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
4．査　　読：学術論文については，編集委員会が査読者２名に依頼する。
査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は，(A)無条件採用，(B)条件採用，(C)不採用とする。
査読期間は２ヶ月程度とする。
5．執筆要領：別に定める。
6．提出期限：基本的には随時。ただし，学術論文は，査読のため，５月春号掲載希望は，１月15日，11月秋号掲載希望は，６月30日を〆切りとする。
学術論文以外は，これは投稿予告の期限で，実際の投稿期限は，それぞれ３月31日，８月31日となります。
7．提 出 先：意匠学会編集委員会
なお，以上の規程は，平成14年11月９日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成６年６月４日　編集委員会決定

1．原　　稿：
原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書きとする。
ワープロで作成する場合は，Ａ４大の紙に１行40字，１頁30行程度で作成すること。査読論文の場合は最終原稿とともに，また，研究報告等は原稿提出時に，フロッピー（機種，ソフト等を明記）も提出すること。いずれの場合も，提出に際しては，コピーをとって手元に保存すること。
また，所定の割付用紙に割り付けを行なって，原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。
2．原稿の分量：
分量は学術論文と研究報告はともに，図版，図表，注などすべてを含めて，刷上りで，14頁以内とする。(400字詰原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は８頁以内，発表レジメは２頁とする。
3．原稿の構成：
原稿には，表紙，本文，注，および学術論文と研究報告には欧文（原則として英文）要約，キーワード，目次を付すこと。
表紙には，表題，著者名（ふりがな付き），所属機関名を和文と欧文（原則として英文）で書くこと。
欧文要約は，刷上り１頁とする。語数は約200語。必ず，タイプライターまたはワープロで作成すること。また，できる限り，当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。
キーワード（和文および英文）は，それぞれ５語以内とする。
4．図・表のレイアウトなど：
図版はモノクロームとし，位置の指定，大きさ，レイアウト，必要なトリミングなどはすべて執筆者が行なうこと。レイアウトなどには学会指定の割付用紙で行なうこと。
図版などの著作権の問題があると思われる場合は，執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。

編集後記

今年の夏は，イギリスに行くことができました。教区教会の調査に同行する形でしたが，田舎道のドライブを存分に楽しみました。有料道路がなく，交差点に信号がほとんどなく，ラウンドアバウト（ロータリー交差点）も最初は戸惑いましたが，結構楽しく，合理的だと感心しました。

ぜひ見たいと思っていたデザイン・ミュージアムには，納得する面と失望を感じました。旅行案内書などには，「日用品のデザインの変遷をビジュアルに展示」と案内してあるのですが，ロンドンで活躍している日本人のデザイナーに聞いたところでは，最近では，展示方針が変更されてきているようです。歴史的な変遷より，現役のデザイナーの仕事を紹介する展示に力点が移ってきているようです。今回訪れた時も，常設展示のスペースより，グラフィクデザイナーとプロダクトデザイナーの回顧展に大きなスペースが与えられていました。デザインの展覧会を企画するキュレーターも育っているとのことで，企画展に重点が移るのも当然かという気もしましたが，常設の歴史的展示の充実も期待したいところです。この点では，ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に，家具を中心にした20世紀のコレクションが結構充実していました。

デザイン・ミュージアムは，未だ課題の一つで，日本での充実に学会が取り組めないか，考える必要がありそうです。デザイン研究の方は期待できそうです。秋季号も十分な論文が集まりました。今後は，投稿論文が多すぎて，次号送りという事態も予測されます。ただ，書評や展覧会評などの投稿が少なく，この点の充実を，会員の皆様にお願いしたいと思います。　　（文責：渡辺　眞）

編集委員

足立裕司　太田喬夫　樋　勝彦
榊原吉郎　佐藤敬二　並木誠士
橋本英治　藤田治彦　藪　亨
横川公子　渡辺　眞（委員長）

デザイン理論　43号

Journal of the Japan Society of Design, 43/2003

発行日　2003年11月15日
発行　意匠学会
事務局　〒606-8585
京都市左京区松ヶ崎御所海道町
京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科意匠学教室内
TEL　075-724-7603
FAX　075-724-7629
発行者
意匠学会　編集委員会
事務局　〒610-1197
京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学美術学部第3研究室群合同研究室内
TEL/FAX　075-334-2255
編集責任者　渡辺　眞
印刷所　㈱北斗プリント社